

経営比較分析表（令和4年度決算）

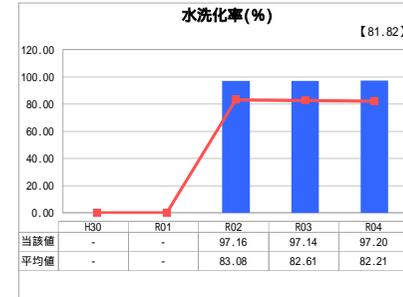
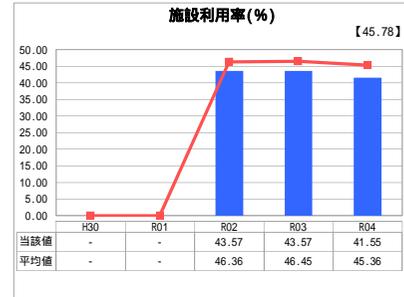
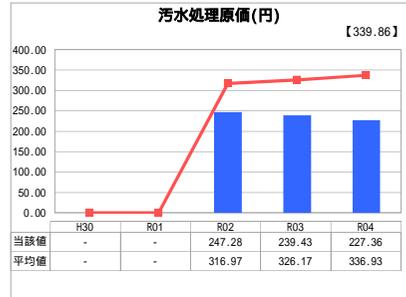
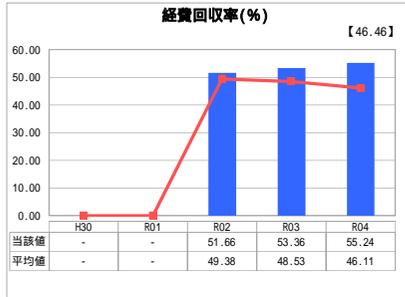
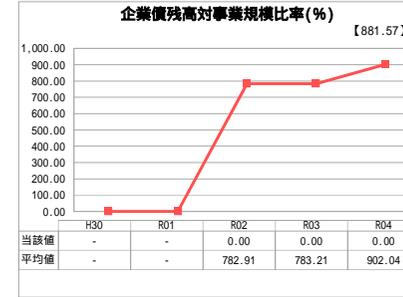
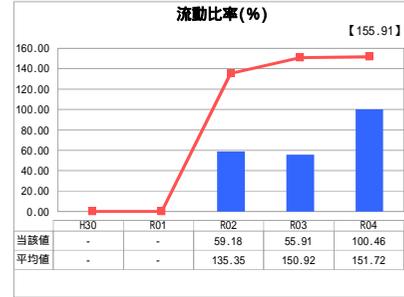
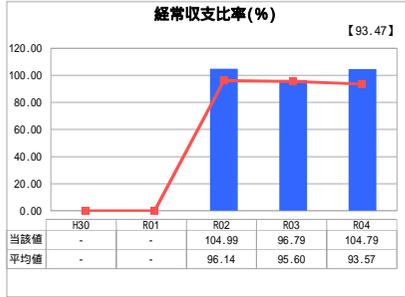
兵庫県 たつの市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	個別排水処理	L2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20 ³ 当たり家庭料金(円)
-	51.64	1.99	100.00	2,420

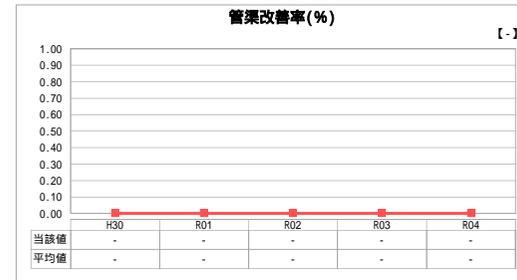
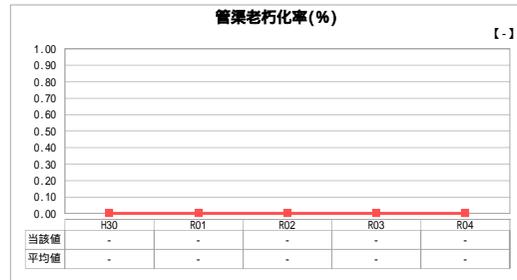
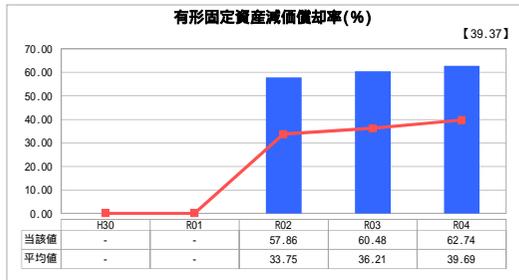
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
74,081	210.87	351.31
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,464	0.27	5,422.22

グラフ凡例
当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率及び経費回収率は、類似団体平均値よりも高いものの、経常収支比率に対して経費回収率が低いことから、収益については使用料収入以外に一般会計からの繰入金等に依存して維持管理費や支払利息等の費用を賄っている状況である。
また、流動比率は流動資産の増加により改善されているものの、類似団体平均値を大きく下回っており、債務に対する支払能力は高くないことから支払能力を高めるための経営改善が必要である。
水洗化率は、類似団体平均値と比較して高い水準で推移しているものの、使用料の増収を図るために今後も水洗化率向上に取り組む必要がある。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産のうち償却対象資産の減価償却が進み、法定耐用年数に近い資産が多く将来の施設の改築・更新が必要であり、改築等の財源確保や必要に応じた経営改善の実施が必要である。
今後は、各合併浄化槽の更新時期が一時期に集中して到来することから、計画的に更新する必要がある。

全体総括

経費回収率が低いことから、一般会計からの繰入金依存からの脱却が経営課題と言える。
今後は人口減少に伴う使用料の減収、社会情勢の変化に伴う維持管理費用の増加及び施設の老朽化に伴う更新費用の増加が見込まれるため、財源確保が必至である。財源確保のためには計画的な使用料改定による適正な使用料収入の確保、汚水処理費の更なる削減が必要である。
本分析を踏まえ、経営戦略等への反映、投資計画等の見直しに取り組み、早期の経営健全化を目指していく。

「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。